



イモカタバミ



ハルジオオン



セイヨウタンポポ



アカカタバミ



オニタビラコ

溝口祭典会報紙

こもれび

雑草は人の意図でなく自然に繁殖する植物です。家の庭で見つけるとすぐに引き抜きますが、蕾を見つけると、もう手を出すことができなくなる…、まさにアンタッチャブルな奴らです。



キュウリグサ



カタバミ



オオイヌフグリ

●お知らせ 次号は8月中旬の発行でございます。勝手ながらよろしくお願ひ申し上げます。

2021(令和3年)5月号 No.151

里親 (きとおや)

溝口 勝巳

私の目の前で、二才くらいの子
さな女の子が、母親に抱かれて静
かに葬儀に参列している。母親
は、自分のあごを軽くその子の頭
に乗せ、溢れ出る愛情も包み込む
ように、やさしく、しっかりと両
手で抱えている。

この女の子の対極にいるよう
な子供たちを、里親の坂本さん夫
婦は、一九八五年から三十六年に
亘り、迎え入れてきました。

『ぶどうの木』——10人の
『わが子』とすごした、里親18年
の記録——(平成十五年初版)は坂
本洋子さんが、里親制度につい
て、少しでも多くの方にこういう
形の家族がいることを知ってい
ただき、里親のことや里子である
ことを隠さず堂々と生きていけ
るように頑張ってほしいと願いを
込めて著した本です。そこからは
生きることの難しさ、坂本さん夫

ぶどうの木

10人の『わが子』と
すごした、
里親18年の記録

坂本洋子



婦の強い信念と深い愛情が伝っ
てきます。数々の波乱、衝撃と感
動の十八年に私も大きく心が動
かされました。

私が所属する東京八王子南口
1タリークラブの例会で、この里
親ひろば・ほいっぶグループ代表
の坂本洋子さんのお話を拝聴い
ました。

現在市内には、親のいない子供
や、親がいても親の病氣や離婚、
虐待などの様々な事情により、親
と一緒に暮らすことのできない

子供が約四千人(日本全国では約
四万六千人)います。このような
子供たちを家庭にかわって公的
に育てる仕組みを『社会的養護』と
呼んでいます。

社会的養護には、より家庭に近
い環境で子供を育てる『家庭的養
護』と、児童養護施設などの『施
設養護』があり、家庭的養護の代
表的なものが養護家庭(里親)制
度です。

養護家庭(里親)は、養子縁組
を目的とせずに、一定期間子供を
預かり育て、親の事情により途中

で元の家庭に戻ることもありま
す。東京都内の里親登録は八二四
家庭(平成三〇年)で、子供たちは
四六三人、八王子では登録三十二
家庭のうち、二十四家庭四十九名
の子供たちが、それぞれの家庭で
生活をしているということです。

坂本さんによりますと、子供た
ちは皆、心に傷を持ち、人のぬく
もりとか人に自分の身を任せる
という経験をすることがないの
で、大人に対して不信感を抱き、
人間不信に陥っているそうです。
また、ご飯が炊けたことを知らせ
る音やお風呂の湧いたことを知
らせる音など、私たちが当たり前
に思っている音が子供たちにと
ってはすべてが恐怖であり、さら
に朝起きた時、学校に行くとき、
帰ってきた時も挨拶を交わす人
が同じ人であること自体が驚き
なのだと思います。このような状
態からのスタートなので、里親の
愛情とご苦労、里子の努力と苦悩
は量り知ることができません。



週刊朝日の脚本家・内館牧子さ
んの連載「暖簾にひじ鉄」

(2019.2.8)に内館さんと坂本洋子
さんとの会話の一部が掲載され
ています。そこには坂本さんが里
親としてされてきたことが次の
ように凝縮されています。

「私は坂本さんに質問してみ
た。

「里親になって、どういう時が一
番幸せですか？」
即答だった。

「うちに来て、子供の顔が幸せそ
うになってくるんです。それを見

ると本当に幸せです」

子供の顔は環境によってどん
どん変化をするそう。自分は
今、お母さんと一緒に買い物に行
ったり、お父さんに宿題を見ても
らったりしている。一緒にご飯も
食べるし、二人は僕のことを大事
に思っている。それがわかってく
ると、顔に幸せ感が出てくるの
だという。それを見ることは、里
親としてどんなに嬉しいだろう。
そんな里子の一人が、成人した
時、坂本さん夫妻に言ったそう
だ。

「これまでしてもらったことへ
の恩は、坂本さんには返さない
よ。自分たちのような子供に返す
からね」

坂本さんは私に言った。

「子供には『自分だけの大人』と
いう存在が必要なんですよ」

それが実の親でなくても祖父
母でも里親でも、自分には「自分
だけの大人」がついている。それ
は、どれほど子供を安心させ、幸
せな気持ちにするだろう。子供の
顔が変わって当然だ。▼

この『ぶどうの木』の巻末に、
石原慎太郎都知事が、心に深い
傷を負った子供たちに心血注い
で育てている坂本さん夫婦をは
じめとする里親を、「神に代わっ
てくれている人々」と題して称え
ています。

私は到底里親などできず、まさ
に他人事のように申し訳ないで
すが、里親の皆さんに心から敬意
を表すると同時に、厳しい境遇を
経験されてきた里子の皆さんに
陰ながらエールを送りたく思っ
ます。

ハートネットTV 対馬にて取材

“ぶどうの木”の子ども達

「私はまことのぶどうの木。あなたがたはその枝である。」虐待や養育拒否などで親と暮らせない子どもを
迎え入れ育てる「ファミリーホーム」(小規模住居型児童養育事業)。東京都内にあるホームで里親を務める
坂本洋子さんは、18年前里子たちとの日々を「ぶどうの木」という名の一回の本に綴りました。
かつての里子たちは今、対馬で自分なりの居場所を見つけた者もいれば、社会の狭間でおしつぶされそうに
なっている者、そしてホームに残り家族を支えることを決めた者など、みな日々を懸命に生きています。
コロナ禍、ぶどうの木の細い枝を通じて、「誰かがかどつながついているかもしれない」という希望を描きます。

5/19(水)午後8:00~8:30
5/26(水)午後1:05~1:35

♡子供と里親の暮らしを知る
Tokyo里親ナビ
https://tokyo-satooyanavi.com/



是非
ご覧ください。

『お箸と風呂敷でぬくもり溢れる平和な世界を』

第4回 ～心を育むお箸使い～

浅海 理恵



あさみ りえ/株式会社レ・ミゼラ 代表取締役、Les Misera Culture School～日本に息づく心配り～運営・講師。音楽・舞台業界、製薬医学業界での勤務経験を経て、2011年3月15日に独立。事務業務の代行を行う事業を営む傍ら、『お箸と風呂敷は心を育ててくれる存在である』という想いの下、“お箸”と“風呂敷”をアイテムとして“日本に息づく心配り”の伝承に努めている。1児の母。

◎ 浅海先生が YouTube チャンネルを開設されました。 YouTube チャンネル名「RieAsami」



Les Misera Culture School

関連サイト



<https://linktr.ee/misera>

皆さま、こんにちは。

前回のコラムでは、歴史の側面から日本においてお箸が神聖なる存在であることを紐解きました。では、私たちはそのお箸を用いて日々、どのように自らの心を育み、数多への尊敬や感謝の念を表現する方法を身につけているのでしょうか。

実は私たち日本人のお箸の扱い・所作には必ず意味があります。所作を正しく行うことで、尊敬や感謝の念を抱くこと、そしてそのころをきちんと伝えるべく表現する振舞いの方法を学んでいるのです。今回はこの点について、いくつかの具体例を挙げてご紹介しましょう。

1. お箸を取り上げるのはご挨拶をし
てから

本連載第二回のコラムで、「いただきます」のご挨拶をする前にお箸を取り上げることは、神聖なるお食事や数多のご縁との結界をそんざいに扱い、神



3. お箸使いから学べる基本所作

お箸や食器は「三手」という手順で扱います。この「三手」は、食事の際だけではなく、あらゆるモノの受け渡し所作に通じています。「三手」が身につけていけば、大人になってから、名刺交換や金封包み、櫛の扱いなどで戸惑うことは絶対にありません。食器や食材を丁寧に扱うことで、私たちはその手順だけではなく、心の表現方法をも身につけられています。

聖なる世界を侵し、命やご縁を粗末に扱うことになるので絶対にやってはいけないとお伝えしました。私たちはこの「お箸を取り上げるのはご挨拶をしてから」という振舞いから「先言後礼」の手順や、日本の文化の根底にある「上下関係」の存在、そして「カタの重要性」などを学んでいるのです。

2. 「いただきます」と「ごちそうさ
までした」

他国の文化においても、食事ができる環境にあることへの感謝、神への感謝を述べる習慣はありますが、日本のご挨拶の対象は、これに止まらないことをご存知でしょうか。私たちのご挨拶の先には、神さまだけではなく、目の前に並べられた数多の命や、その神聖なお食事と向き合えるために介してきた多くの人々とのご縁、その方々の汗や涙、ご尽力、時間の数々が含まれています。



4. やってはいけない箸使い

・「持ち箸」「受け箸」
どちらもお箸とお碗を片手で持ち扱う所作です。譲けられた人となりながらも表現される所作の基本は「両手で扱うこと」です。持ち箸や受け箸をしないことで、私たちは大切なモノ、貴重なモノは「必ず両手で扱う」ことを学んでいます。

・「迷い箸」「移り箸」「空箸」
どれも移り気を表す所作です。私たちは「きちんとお相手と向き合うことの大切さ」をもお箸使いによって学んでいます。

・「直箸」

私たちが食事をするとき用いるお箸は一膳、二膳…と数えますが、取り箸や菜箸はそのように数えないことをご存知でしょうか。後者は一対、二対…や、一揃え、二揃え…と数えるのです。文字にくづき(月)が入っていることから関わり合いの相手が想像できますよね。ヒト・コト・モノにはそれ

絞めてくれなければ、運んでくれなければ、冷蔵・冷凍設備を作ってくれなければ、陳列してくれなければ、販売してくれなければ、様々な設備や道具、食器を作ってくれなければ、配膳してくれなければ、何よりその命が存在しなければ！私たちの目の前にそのお料理が並ぶことはありません。

私たちは飲食物を口にすることで、自らの血とし、肉とし、日々生き長らえることができますが、私たちのその一食は、挙げればキリがない程、多くの人の働きによって成り立っているのです。

私たち日本人の食事の際のご挨拶は、こうした数多の存在に対して、尊敬と感謝の想いを口にする言葉なのです。

一食毎に数多の存在に心通わせ、尊敬や感謝の念をもつてご挨拶をすれば、自ずと自らが決して一人ではないということ、誰かに支えられ、そして支えていることも実感できるはず。他も自分も、大切に思えてくるはず



それ用途や目的、存在理由の違いがあることを教えてくれます。それを認識し、それぞれを尊重しながら扱う(接する)ことの大切さも、私たちはお箸使いから学ぶことができます。

日本において大人がお箸使いを通じて人と向き合える理由がお分かりいただけましたでしょうか。やってはいけない箸使いをしないように乳幼児に求めても無駄です。でもそれは当然のこと。だって、まだ彼らは尊敬する気持ちや感謝の念を抱くことも、その表現方法も分かりませんもの。数多の存在や自分に心を寄せ、尊敬や感謝の念を抱き、それを表現できてこそ、一人前の大人。だからこそ、ある程度の年齢になると、その基本が詰まっているお箸使いによって、人と向き合えるのです。

お箸使いに纏わる所作一つ一つに込められた原点を、今一度是非見つめ直してみてください。丁寧なお箸使いはその一食を、そしてあなたの心や身体を、より一層豊かにしてくれますよ。



食品のご寄付をお願いいたします

八王子食糧ネットワーク

一人ひとりの小さな思いやいが、子どもたちの健やかな成長を支える大きな力になります。みなさまのご協力をお願いいたします。

○ご寄付方法

弊社にご連絡いただければ、弊社が指定の場所に受け取りにまいります。または、弊社が、直接左記にお持ち込みください。

(場所) 一般社団法人

フードバンク八王子

(受付) 平日 9時〜17時まで

(住所) 八王子中町2-1-9

ランメンビル3F

(フードバンク八王子ワークス)

(電話) 042(649)1769

八王子食糧ネットワークは、子ども食堂や地域食堂、無料塾や居場所づくり、フードバンクなどの活動をする団体のネットワークです。緩やかな地域のつながりが、子どもたちの成長を見守り、支える場となるためにそれぞれの団体が活動をしています。みなさまのご協力は彼らの貴重な活動を支える大きな力となります。どうぞご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ◎ 瓶詰の食品でないもの
- ◎ 未開封のもの

◎ 賞味期限が

一ヶ月以上あるもの

◎ 包装や外装が破損していないもの

(品例)

缶詰・菓子

酒類・乾物

麺類・お米

コーヒー

カップラーメン

醤油など



フードバンク
八王子



株式会社溝口祭典 ☎042-642-0921
メール km@mizoguchi-saiten.co.jp



ホノルル



カパアウ



ヒロ



こもれび読んで、
ハワイに行こう!

伊藤 恵里子 (第14回)

カメハメハ大王という名前はよく聞きますが、どんな人物なのでしょう。正式名称は「カメハメハ一世」で、ハワイ諸島を初めて統一し、一八一〇年にハワイ王国を建国、初代国王となりました。一七五八年生まれらしいのですが、当時ハワイには文字がなかったため、正確な誕生の記録が無く、推測の域を出ません。

州最高裁判所前の像です。ハワイに行った人は必ず一度は見ていると思います。一八七八年の「キャプテン・クックによるハワイ発見百周年」を記念しイタリヤで作られた物ですが、船での輸送中、嵐で船と共に沈没してしまいました。現在の物は急ぎ作りなおされた二代目というわけです。

この大王像、いろいろな資料で見るとカメハメハ大王とはかなり違う顔をしています。実は像のモデルは大王本人ではなく、製作当時の王であるカラカウアが、宮廷の中から選んだ特に見た目が美しい男性とのこと。違う人物をモデルに作るのはどうなのか・・・というところですが。

さて、船と一緒に沈んでしまった最初の銅像はどうなったかというところ、一九一二年に船ごと引き上げられました。そのまますぐにハワイに届いたわけ

「ハワイにはカメハメハ 大王像が三つある?」

けではなく、引き上げられた場所に近しいアルゼンチンのフォークランド諸島の地に売られ、長い月日を経て、生誕の地に近いハワイ島北部カパアウという町の地方裁判所前に建立されました。そしてもう一体は同じくハワイ島ヒロにある州立公園内に一九九七年に置かれました。ハワイ島に行ったら、ホノルルの像と見比べるのもいいでしょう。

そして、この記事を書きながら、実はもう一体のカメハメハ大王像がアメリカ本土にあるということを知りました。ハワイがアメリカ領からアメリカ合衆国ハワイ州になった一九五九年に、ワシントンの国会議事堂内に設置されたとのこと。もしも、いつの日かワシントンを訪れる機会があるならば、第四のカメハメハ像を見たいと思っています。

セミナーのご案内

◆ 「人形供養会」

5月22日（土）午前11時半から

受付は5/20～22 午前10～12時（5/22は11時まで）

詳細は別紙案内をご参照ください。

◆ 「お盆セミナー」

『お盆』そのものの意味合いや、飾り付け方、さらに棚経等、お盆に関連する事柄についてご案内をいたします。

また、実際にお仏壇での飾り付けや精霊棚もご覧いただけます。

第1回：6月13日（日）午前10半～12時

第2回：6月25日（金）午前10半～12時

定員：10名

場所：こすもす家族会館

講師：伊藤 久哉（式典部次長・一級葬祭ディレクター）

◆ ご葬儀セミナー「最近の葬儀事情について」

コロナ禍でのお葬式はどうしたらいいのか・・・。

今でも、「志村けんさん」や「岡江久美子さん」のような火葬なの？

コロナで大きく様変わりをした最近の葬儀事情についてお話しいたします。

7月24日（土）午前10～11時

定員：10名

場所：こすもす斎場

講師：上原 武史（式典部主任・一級葬祭ディレクター）

● 参加ご希望の方は、お電話にてお申し込みください。

お申込み・お問合せ先 株式会社 溝口祭典 042-642-0921

● お知らせ

小紙「こもれび」は、皆様のご指導をいただきながら、創刊以来隔月で発行してまいりましたが、誠に勝手ながら、来年から年4回の発行に変更いたします。今年8月と11月、来年から1月・4月・7月・10月の発行です。今後とも弊社と小紙をよろしく願い申し上げます。